

# 安心安全だより

札幌市立藻岩小学校 学校安全委員会 12月25日(木)NO.11

## 冬型の事故から身を守るために

明日から子どもたちの楽しみにしている冬休みが始まります。積雪のシーズンを迎え、通学路では圧雪や凍結など危険な路面状況となっています。また、屋根からの落雪やつららなど、頭上にも危険が潜んでいます。夏の時期と比べて、より一層周囲に注意しながら歩くことが重要です。学校では、子どもたちの大切な命を守るために、以下の内容を指導しています。冬休みを迎えるこの時期に、是非御家庭でも話題にしていただきたいと思います。



なぜ屋根の下へ絶対に行ってはいけない？

夏と冬、道路にはどんな違いがある？

放課後、自宅に帰る時刻は何時？

冬の外遊びは、どんなことに気を付ける？

冬、どんな色の服装だと目立つかな？

道路脇の雪山、冬の川にはどんな危険がある？

道路を歩くとき、なぜ雪玉を作って投げてはいけないの？

ポケットに手を入れて歩くと、どんな危険がある？

一人一人の子どもに「ここはあぶないかもしない。」という危険を予知し回避する心を育てたいと考えています。

- ①これから季節、雪道の歩行では前が見えにくかったり、道路が滑りやすかったりするなど夏とは違った危険性があることを理解し、十分に注意する。
- ②登下校では、通学路を守る。また、歩道のないところや大雪の後などで歩道が埋まって歩けないような場合は道路の右端を歩き、前や後ろから来る車などに十分注意する。
- ③自動車は、凍結した路面では急に止まることはできない。道路を横断する際には、急な飛び出しがせず、信号機や横断歩道を利用し、青信号であっても必ず立ち止まって左右の安全確認（止まる・見る・聞く・待つ）を行い、車が停止するのを確かめてから渡る。
- ④道路のわきにできる雪山には、絶対に登らない。（誤って車道に滑り落ちると大変危険）
- ⑤歩道を歩いていてもコンビニエンスストアなどの駐車場の車の出入りがあるので、十分に注意する。
- ⑥**12月、1月は16:00までに帰宅する。**